

小学校 第5学年 給食時間の学習指導案

1 題材名 「長崎県でとれる魚を知ろう」

2 題材設定の理由

長崎県は全国有数の水産県であり、水揚げされる魚種も豊富である。「いわし」を教材として、長崎県でたくさんの魚がとれていることを知らせ、魚に親しみをもつことで魚を食べようとする意欲をもたせたいと考え、この題材を設定した。

3 本時の目標

長崎県ではさまざまな種類の魚がとれることを知り、魚を食べようとする意欲をもつ。

4 食育の視点

地域の特産物を理解し、日常の食事と関連付けて考えることができる。（食文化）

5 他教科との関連

社会科 「わたしたちのくらしをささえる食料生産」

6 本時の展開

過程	学習活動及び学習内容	指導上の留意点	資料
食前	○今日の給食では、長崎県産のいわしを使っていることを知る。 長崎県でとれる魚を知ろう ○長崎県でたくさんとれている魚について考える。	○今日の給食の魚は、長崎県で水揚げされたいわしであることを知らせる。 ○長崎県でとれるいわしについて知らせる。 ・水揚げ量全国3位 ・煮干の生産量全国1位 ○長崎県でとれる魚種を知らせる。 ・春：あまだい いか たい ・夏：あじ いさき あわび ・秋：さば あご ひらめ ・冬：いわし ぶり ふぐ	いわしの写真 長崎県の魚マップ （長崎県水産部資料）
食事中	○味わいながら食べる。	○よく味わって食べるように促す。	
食後	○長崎県でとれる魚に関心をもち、進んで魚を食べようとする意欲をもつ。	○地元でとれたものは、新鮮で安心して食べられることを知らせる。 ○給食では、長崎県でとれた魚を多く使っていることを知らせ、進んで魚を食べようとする意欲をもたせる。	

7 指導のつながり

・給食時間や掲示物等で給食に使われている水産物を紹介し、地域の食材に関心をもたせる。